



## NEWS RELEASE

株式会社 すららネット  
2026年4月30日

### 流山市で「すららドリル」が2026年4月より導入 市内の中学校10校、約5,500人が利用開始

AIを活用したアダプティブな対話式 ICT 教材の開発と提供を行う株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役：湯野川孝彦）が提供する「すららドリル」が、2026年4月から流山市の公立中学校10校で導入され、約5,500人の生徒が利用を開始しました。

流山市  
Nagareyama City

都心から  
一番近い  
森のまち



すららドリル



流山市は、教育大綱において三つの重点的な方向性を掲げています。その一つである「確かな学力の向上」では、基礎・基本の確実な定着を土台としながら、GIGAスクール構想のもと ICT を積極的に活用し、こども一人ひとりの状況に応じた最適な学びの実現を目指しています。画一的な指導から、個の理解度や進度に応じた学習へと転換することで、すべてのこどもが着実に力を伸ばせる環境づくりを進めています。

こうした方針のもと、GIGAスクール構想をさらに深化させ、教育データを活用したきめ細かな指導体制の構築や、教員の負担軽減と指導の質向上の両立を図りながら、誰一人取り残さない学びの環境整備を進めています。今回の「すららドリル」導入は、これらの理念を具体的な形で実装する取り組みの一環として位置づけられています。

「すららドリル」は、AIによる最適な問題提示とアニメーションによるわかりやすいレクチャー機能を組み合わせ、こどもたち一人ひとりの理解度や学習進度に応じた“個別最適な学び”を可能にする教材です。単にドリル演習を繰り返すのではなく、「わかった」「できた」と感じる成功体験を積み重ねることで、自己肯定感や学びへの意欲を自然と育む設計がなされています。

また、「すららドリル」は、課題配信・採点・進捗管理など教員の日常業務の負担を軽減しながら、学習データを活用したきめ細かな指導を可能にします。これにより、教員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保し、授業の質のさらなる向上にも寄与します。

## 流山市教育委員会 指導主事 桐生貴博氏のコメント

第1期 GIGA スクール構想の成果と課題を中間的に整理するとともに、第2期 GIGA からの5年間を見据え、「学ぶ場所の多様化」や「学力の二極化」への対応も重要なテーマとして捉えています。その中で、個別最適な学びを支えるに相応しいドリル教材を探していました。「すららドリル」を初めて体験した際、その有効性に強い手応えを感じました。特に、AIによる学習者の現在の把握の仕方と個別最適な問題の提示、英語科において自分の発話内容を発音記号として可視化し、採点や振り返りまで行える点、また解説動画の豊富さと分かりやすさについては、これまで様々なドリル教材を体験したなかでは、他の追随を許さないものでした。

今後は、学習データを活用した指導の充実と教員の負担軽減を両立させながら、すべての生徒の学びを継続的に支えていきたいと考えています。

## ■AI×アダプティブラーニング教材「すららドリル」

「すららドリル」は、公立小中学校向けの AI ドリル教材で、児童生徒一人ひとりの理解度に応じたアダプティブな学習を提供します。AIによる「つまずき診断」や「出題難易度コントロール」により、国語・算数／数学・英語・理科・社会の5教科を、学年を越えて柔軟に学ぶことができます。教材はドリル、テスト、対話式レクチャーの3機能で構成され、「演習→確認→復習」のサイクルで無理なく学力の定着を図ります。また、テストの自動作問・採点、自動復習登録機能により、教員の負担も軽減します。

「すららドリル」は、多様な学習スタイルに応じた指導が可能で、児童生徒の主体的な学びと教員の指導の質向上を同時にサポートします。

## ■株式会社すららネット

すららネットは、「教育に変革を、子どもたちに生きる力を。」を企業理念に掲げ、AIを活用したアダプティブな対話式 ICT 教材「すらら」「すららドリル」などを開発・提供しています。現在、国内の3,100校以上の学校や学習塾で導入され、約26万人の児童生徒が利用しています。全国の公立学校や有名私立学校、大手塾での活用が広がる一方、不登校や発達障がい、経済的困難な状況の子どもたちにも学習機会を届けることで、教育課題の解決に取り組んでいます。2017年には、代表的な EdTech スタートアップ企業として東証マザーズ市場（現東証グロース市場）に上場しました。

- ・コーポレートサイト <https://surala.co.jp/>
- ・サービスサイト <https://surala.jp/>

＜資料に関するお問合せ先＞  
株式会社すららネット 広報担当  
e-mail : [press@surala.jp](mailto:press@surala.jp)  
TEL : 03-5283-5158 FAX : 03-5283-5159